

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回川越市立学校給食センター運営委員会
開催日時		令和6年11月1日（金） 10時00分 開会 ・ 11時30分 閉会
開催場所		川越市立菅間第二学校給食センター 研修室
議長（会長）氏名		会長 岡野一明
出席者（委員）氏名		岡野一明 浅野 聡 米塚貴洋 吉田朋矢 戸田知子 星 志保 尾関哲也 小俣和広 西村早苗 （9名）
欠席者（委員）氏名		吉川恭子 原江里子 丸山 浩 長岡聡司 （4名）
事務局職員職氏名		学校教育部長 岡島一恵 学校給食課長 宮沢 茂 菅間学校給食センター所長 石井正孝 菅間第二学校給食センター所長 石倉照久 今成学校給食センター所長 山本勇志 学校給食課副主幹 粕谷貴幸 学校給食課主査 松栄睦美 学校給食課主任 小澤裕樹
会議次第	1 開会 2 委嘱式（委嘱書交付） 3 自己紹介 4 議題 （1）正副会長について （2）学校給食事業について（概要説明） （3）学校給食費について （4）その他 5 報告 （1）令和9年度全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会について 6 閉会	
配布資料	第1回 川越市立学校給食センター運営委員会次第 川越市立学校給食センター運営委員会規則 川越市立学校給食センター運営委員会 委員名簿 資料 学校給食事業の概要 学校給食費について 追加資料 令和6年度における主食単価などの上昇について	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会
学校教育部長	2 委嘱式 —委嘱書の交付— —学校教育部長の挨拶—
委員	3 自己紹介 —委員から自己紹介—
学校給食課長	—事務局職員の紹介—
事務局	4 会議 当運営委員会は、川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準第2条の規定により、原則公開となる。 本日の委員の皆様の出席状況は、13名の委員のうち、出席が9名、欠席が4名である。当運営委員会規則第4条の規定により委員会は成立している。
事務局	—配布資料確認—
事務局	会長、副会長の選出までの間、学校給食センター運営委員会規則第2条第2号委員の浅野委員にお願いする。
委員	—異議なし—
事務局	浅野委員を仮議長に選出する。
仮議長	(1) 正副会長について 会長、副会長の選出を行う。
事務局	川越市立学校給食センター運営委員会規則第3条 委員会に会長及び副会長を各1名置き、委員の互選により定める。なお、これまでは指名推薦により選出している。
仮議長	指名推薦で選出してよいか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	—異議なし—
仮議長	会長を岡野委員、副会長を浅野委員に決定した。仮議長の任を解かせていただく。
会長	—会長挨拶—
事務局	(2) 学校給食事業について（概要説明） —資料 1 に基づき説明—
委員	質問等特になし。
事務局	(3) 学校給食費について —資料 2 に基づき説明—
委員	質問等特になし。
事務局	—追加資料を配布—
事務局	追加配布した資料は、県内及び中核市の学校給食費の状況について示したものである。学校給食費については受益者負担として学校給食法で定められているものになる。物価高騰の影響もあり、川越市では令和 4 年度から令和 6 年度までは国からの交付金を活用し賄材料費に充当してきたが、物価高騰については、高止まりの状況になってしまっている。 令和 5 年度第 2 回運営委員会で学校給食費の改定については、止むを得ないとの意見をいただいたが、改めて令和 7 年度に向けて、価格改定の協議を行いたいと考えている。米については、学校給食会の協力もあり、必要な量は確保できているが、価格が非常に高騰している。令和 7 年度予算については、国からの交付金は現時点では見込めず、賄材料費への対応に苦慮しているところである。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	今朝も菓子類の値上げがニュースで取り上げており、冷凍食品についても値段はそのままでも内容量を減らしている状況である。昨今の物価高騰の中では、学校給食費の無償化はとても出来るようなことではないと実感している。値上げを行うことで、保護者から否定的な意見も出ると思うが、それ以上に学校給食の量と質を担保して欲しいという気持ちがある。子供たちは学校給食の変化に想像以上に敏感であるため、現状の給食費を維持してデザートを無くすなどの対応より良いと思う
事務局	市民意見箱などでも、献立についての意見をいただき、大変ありがたいと思っている。文部科学省の厳しい栄養摂取基準に基づき、学校給食を提供させていただいているところである。
委員	無償化を希望する声も多いと思うが、テレビで子供たちが給食を食べている映像が流れると、川越市の方が質も量もしっかりしたものを提供していると感じている。他市の学校給食には、食べ盛りの子供たちでは足りないと感じるようなものも見受けられた。足りない給食を提供するのであれば、価格改定をして、子供たちが満足する学校給食を提供した方が良いと考える。値上げについて、否定的な意見も多いと思うので、値上げによる献立の変化が、はっきりと理解できる比較例があると良いと考える。児童手当も拡充されているため、給食費の負担が増えたとしても、そちらで賄うことが出来ると思う。
事務局	学校給食費の無償化については、政策的な判断が必要となる。無償化した場合は、その分を賄うために多くの予算が必要となるため、政策、財政部局と協議しながら情報共有を行っていく。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	物価高騰については賃金上昇が伴っていないように感じている。東京都では、大学無償化の流れがあるが、それよりも先に給食費を無償化するべきであると考え。給食費の負担が少子化の要因の一つであるとも考えられるのではないか。
事務局	給食費の改定による少子化への影響については、こども未来部と福祉部と情報共有をさせていただきたい。
委員	米の価格高騰を実感しており、給食費の改定については仕方がないと思うが、いきなり２倍に値上げするようなことはしないでいただきたい。
事務局	価格高騰による影響は、小学校は年間約６，０００円増、中学校は年間約７，０００円増、程度の規模感になると見込まれる。
委員	物価高騰の影響は様々なところで感じており、高騰分を賄っていたことは、今まで様々な工夫をされてきたところだと考える。食材費を抑えるために、提供出来なくなった食材もあると思うが、どのような食材の使用を控えているのか。
事務局	特に魚類の高騰が著しく、子供たちに人気の鮭を使用することが出来ておらず、代替として鯖などを使用している。
委員	学校給食は子供たちが様々な食材を体験し、好き嫌いを克服する機会にもなっている。そのため、質は必ず担保していただきたいと思う。
事務局	食材によっては価格が下がっているものもあるが、主食が値上がりしているために、食材の選択肢が制限されている状況である。学校給食では、外国料理も献立に組み入れており、そのような機会を失うことのないようにしたいと考えている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	昨年度から参加しているため、値上げについては仕方がないと考えている。平成27年から現在まで値上げをしなかったのは、様々な工夫のおかげであると思う。物価高騰がどこまで継続するかが不透明であるため、短期間で何度も改定するよりは、数年先を見据えた改定額にした方が良いと思う。
事務局	過去の価格改定については、消費税の改定などに合わせて行っていたところである。2年から3年程度を目安に適正価格の見直しを当運営委員会で諮りながら検討していきたいと考えている。
委員	1年ほど前に、給食を提供している業者が破綻し、子供たちが困っているというニュースが放送されていたが、食材価格も継続して上昇していると感じている。そのような状況の中、9年間、価格を維持し続けたことは、本当に工夫をしてきたことが分かる。白飯よりコッペパンの増加率が穏やかであることから、使用する主食のバランスを見直して対応することは出来ないのか。
事務局	川越市では、米・パン・麺を概ね3対1・5対0・5の比率で提供している。以前は小麦の値上がりが顕著であったため、米飯の割合を増やしていこうと考えていたが、最近では米の値上がりがそれを上回ってしまった状況である。川越産の米や野菜を積極的に取り入れた上で、バランスについても検討していきたいと考えている。
委員	私も川越の学校給食を食べて育っており、昔と比べて非常に質の高い給食を提供していただいていると思う。物価がこれだけ高騰している中では、おいしいと思える給食を目指していただくためには、値上げはやむを得ないと思う。
事務局	改定額については十分に検討したいと考えている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
会長	保護者に値上げを納得していただくことは非常に難しいことであると実感している。周りが値上げしている今だからこそ、理解も得やすいのではないかと感じる。給食費の改定のスパンも考えながら、適正な改定を行ってもらえればと思う。
事務局	米については、年2回、牛乳については年1回の契約を行っており、ここで下半期の米価格が決定したところである。消費者物価指数を参考にしながら、適正な給食費を検討していきたいと思う。
事務局	(4) その他 次回の運営委員会については、3月議会前に開催予定である。詳細については、改めて通知させていただく。
事務局	5 報告 (1) 令和9年度全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会について 令和9年度の全国大会の担当県が埼玉県となり、埼玉県からその会場を川越市でぜひお願いしたいとの打診がありました。今後は埼玉県から教育長あてに正式に依頼がある予定です。詳細が決まってきましたら、改めてご報告させていただきます。なお、令和7年度は茨城県が担当県で水戸市が会場市、令和8年度は担当県が熊本県で熊本市が会場市となっております。
事務局	以上で、本日の会議は全て終了とする。